

園だより



駿河台大学第一幼稚園
12月

今年もあとひと月となり、1日には、子ども会があります。
学級や学年の仲間たちと担任が、ストーリーを
自分たちの大好きなお話に作り上げ、共に演じる
楽しさを感じてきました。
その年齢ならではの仲間と、共に同じことに向かって
取り組む楽しさや表現する楽しさを味わってほしいと
思っています。



先日の未就園児のプレ保育があった時の様子です。
登園時にスムーズに中に入ることが時々できにくい
年少組のお子さん二人が、プレ保育の子どもたちを気遣い
楽しませてあげようと窓越しに指と指を合わせて笑顔で子どもなりのもてなし
をしている姿がありました。何気ない一瞬ですが、年下の小さいお子さんへの
の思いを感じました。

また、同じ日に年長組の男児が、花壇の水やりをしていると興味をもったプレ
のお子さんの様子に気づいて「やりたいの?」と聞いて貸してあげて、落と
さないように下を持って支えてあげて「そっとね」など優しく相手を思いやる
姿もありました。

生活の中で、同じ年齢の友達とでは芽生えにくい「いたわりの気持ち」が垣
間見れて、いい時間になっています。

人とかかわり、人にかかわられていく中で、優しさや思いやってもらったこ
と、助けてもらったことが心の支えになってくれたらと思います。

最近の嬉しいことです。多数の教育実習生やお父さんと遊ぼう会のボランテ
ィアで参加した駿河台大学生の方が、皆さん同じように子どもたちがとても自
主的で輝いていると話してくださいました。